

1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

政策名	物流・産業	27年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 事業推進課長	
施策名	産業の高度化・新展開・創出と広域物流拠点の形成	成果	コスト				
事務事業名	飛島ふ頭道路(改良)整備事業	延伸	維持	維持	連絡先	052-654-7921	
目的	対象(誰・何を)	飛島ふ頭内道路				事業期間	平成24～29年度
	意図(どういう状態にしたいか)	飛島ふ頭集中管理ゲートの供用に伴う物流動線の確保及び通行車両に対応した道路とするために、道路の整備・改良及び交差点改良を行います。					
概要	整備場所:愛知県海部郡飛島村 内容・規模:運用を開始した集中管理ゲートへの動線確保のため、西側に新規道路、既設道路に左折帯を整備し、物流動線の充実を図り、舗装改良を実施して車両走行の安全性を向上します。新規道路整備 約0.3km、既設道路等改良 約2.4km 全体工事費:7.4億円(平成28年度より8億円から変更) 事業手法:防災・安全交付金事業				根拠法令等	社会資本整備重点計画 名古屋港湾計画	
事業着手時点の評価	飛島ふ頭集中管理ゲート供用後の物流動線の拡充を図り、物流の効率化を向上させます。また、舗装改良を行うことにより車両走行の安全性・快適性が向上します。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
28年度の実施予定	飛島1号線において、劣化が確認されている表層、基層及び路盤の撤去を行い、コンクリート舗装への打替えを行います。 飛島②号線において、ひび割れ・轍により脆弱となった舗装表面の切削を行い、切削により取り除いた部分にアスファルトを舗装する改良(切削オーバーレイ)を行います。				関連シート		

2 DO(実施)

28年度に実施した内容・結果	飛島1号線において、約480mの改良(コンクリート舗装)を行いました。 飛島①、②号線において、約1,060mの改良(切削オーバーレイ)を行いました。					
コスト	単位	26年度	27年度	28年度	合計(平成24年度～)	備考(費用の増減理由等)
工事費	千円	327,410	13,792	149,146	620,324	平成26年度の工事費は、平成25年度より161,637千円を繰越して施工しました。
人件費	千円	4,669	4,549	3,673	16,726	
合計	千円	332,079	18,341	152,819	637,050	

3 CHECK(検証)

指標名	26年度	27年度	28年度	最終目標	29	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
事業進捗率(%) (進行管理型)	目標	56.9	72.0	83.7	100(累計)	事業進捗率は、全体工事費を100とした工事費の割合です。	
	実績	61.7	63.6	83.7			
	事業進捗状況(28年度)			順調	やや遅れ・遅れ		
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	平成29年度の事業完了に向け順調に進捗しています。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	○	事業着手時に比べ必要性が低下していないか？					
有効性	○	事業着手時と同様に、円滑な物流動線の確保や舗装改良の必要性は低下していません。					
効率性	○	飛島ふ頭内の道路改良及び整備により、物流動線の拡充及び物流の効率化を図ることは、上位施策である「産業の高度化・新展開・創出と広域物流拠点の形成」に貢献すると考えております。					
	○	舗装改良を行った箇所については、安全性・快適性の向上などの成果が得られていると考えております。					
	○	コストが最小になるよう精査して事業を進めています。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	29年度以降の方向性		判断理由
	継続	成果 維持	
課題			29年度以降の取組
当該道路は、集中管理ゲートの本格運用開始後の物流動線の確保や車両走行の安全性向上のため、着実に整備を行っていく必要があります。		整備に必要な交付金事業の予算確保に努めながら、平成29年度の事業完了に向けて着実に整備を進めていきます。	